



高槻小だより

心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子ども

北九州市立高槻小学校
平成30年度学校通信
〈10月 第10号〉
平成30年10月29日
文責 校長 永田 隆

全国学力・学習状況調査の結果について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」は平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数，理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析（傾向や特徴） |
|-------|---|
| 国語A | ・全体的に全国平均正答率と同程度であった。 ・「話すこと・聞くこと」に関しては全国平均を大きく上回っていたが、「書くこと」「読むこと」に関しては課題がある。 |
| 国語B | ・全体的に全国平均正答率をやや下回った。 ・「書くこと」「読むこと」に関して課題がある。 |
| 算数A | ・全体的に全国平均正答率と同程度であった。 ・「量と測定」「数量関係」領域が全国平均を上回り、「数と計算」「図形」領域が全国平均を下回っていた。 |
| 算数B | ・全体的に全国平均正答率を下回っていた。中でも、「数量関係」領域に対して課題がある。 |
| 理科 | ・全体的に全国平均正答率をやや下回っていた。 ・「自然事象への関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」に課題がある。 |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

| 質問紙調査の結果分析 |
|---|
| ・授業の中で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる児童が増えている。 ・宿題をする習慣は身に付いている。予習や復習等、計画を立てて家庭学習を進めていくことができるよう指導を継続していく。 ・毎日、同じくらいの時刻に起きている児童は多いが、同じくらいの時刻に寝ていない児童も多い。睡眠時間の確保のためにも、就寝時刻に関して啓発を行う。 ・「人の役に立つ人間になりたい」と思っている児童が多い。今後も達成意欲を満たす活動を通して自尊 |

心を高めていく。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

(1) 教科に関する取組（全校で・学級で）

○朝自習の充実

[下学年] 月：朝読書 火：暗唱 水：国語 木・金：算数

[上学年] 月：朝読書 火・水：算数 水：暗唱 木：国語

※ 上学年と下学年の朝自習の内容をずらすことで、校長、教頭、教務、少人数指導担当がどの学年の算数の補充にも入れるようにする。

○学力向上の取組

- ・話し合い活動を充実させることで、自分の考えをもち、それをうまく伝えることができる力を伸ばす。また、「振り返り」の時間を十分に確保し、自分の考えを書いたり、伝え合ったりする活動を充実させる。
- ・「天声子ども語」（高学年）の取組を継続するとともに、「読売ワークシート」の活用を図ることで、児童の書く力を向上させる。
- ・学力定着サポートシステムを活用し、学習の定着度を客観的に判断し、補充を行う。

(2) 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習の時間（低学年：30分、中学年：45分、高学年：60分を目安）を含め、生活時間の見直しを図ることで望ましい生活習慣を身に付けさせる。
- ・月始めに家庭学習チャレンジハンドブック提出週間を設定する。担任と保護者で児童の学習状況について点検、把握し、児童の学習習慣の定着を図る。
- ・参考となる自主学習ノートを掲示し、自主学習への意欲を高める。
- ・毎月23日の「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」を学校だより、学年だより等で家庭に知らせ、実践を促す。